

ex13-3.c

関数 `nchar()` は、`char`型と`int`型の引数を1つずつ受け取り、`int`型の返り値を返す関数である。関数 `nchar()` は、引数として受け取った`char`型の文字を、同じく引数として受け取った`int`型の数だけ連続して出力し、出力した文字の数を返り値として返す。ただし、引数として受け取った`int`型の値が、0以下であるときは何も出力しないものとする。

このような関数 `nchar()` を定義し、以下の `main()` 関数（を変更せずそのまま利用して）で実行するプログラム **ex13-3.c** を作成して `kiso2` コマンドを用いて提出しなさい。

ex13-3.c

```
int main(void) {
    int n;
    char c;

    printf("c n? ");
    scanf("%c%d", &c, &n);

    int o = nchar(c, n);
    printf("%c は %d 個出力されました。 \n", c, o);

    return 0;
}
```

実行例：

```
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex13$ ./ex13-3
c n? a -1

a は 0 個出力されました。
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex13$ ./ex13-3
c n? a 0

a は 0 個出力されました。
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex13$ ./ex13-3
c n? a 1
a
a は 1 個出力されました。
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex13$ ./ex13-3
c n? a 2
aa
a は 2 個出力されました。
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex13$ ./ex13-3
c n? * 9
*****
* は 9 個出力されました。
```

From:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/ex/ex13-3.c>



Last update: **2019/12/17 15:12**